

2液ターペン可溶性ポリウレタン樹脂系  
鉄部用高耐候性さび止め兼用省工程塗料

# SPワイドポリリン

さび止め塗料とポリウレタン樹脂塗料を1つに合わせた塗料で、防食性と耐候性を兼ね備えた新しいタイプの省工程形塗料です。塗料用シンナーで希釈できますので、改修時に旧塗膜を侵しにくく、臭気も抑えられます。また、速乾性で2工程での仕上げができるため、例えば集合住宅の鉄扉等に使用すれば在宅時間を1日に短縮できるなど、工期が取りにくい場合に最適です。



## 特長

- 速乾性=4時間(20℃)で同色での塗り重ねが可能です。
- 省工程=塗装回数を3回から2回へ短縮することができますので、省工程塗装が可能です。
- 高耐候性=ポリウレタン樹脂系のため優れた耐候性を有します。
- ホルムアルデヒド放散等級=F☆☆☆☆ ■ 鉛・クロムフリー ■ 防藻、防かび性
- UR都市機構：機材及び工法の品質判定基準(平成26年版) 錆止め兼用ウレタン樹脂ペイント塗り(UE)対応

## 用途

- 建築用鉄部(鉄扉、手すり等)
- 工場内のラック
- 設備等のメンテナンス等

### ▶ 商品構成

商品名	荷姿	基剤	硬化剤	色	備考(混合比、その他)
SPワイドポリリン	15kgセット	13.5kg	1.5kg	白・調色	基剤：硬化剤=9：1
	4kgセット	3.6kg	0.4kg		

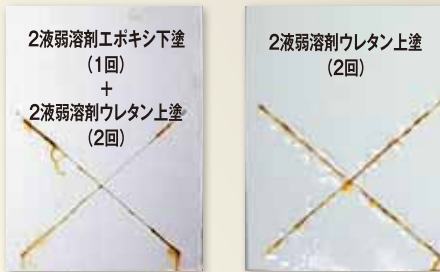
### ▶ 標準塗装仕様

工程	塗料名(希釈剤)	希釈率(%)	塗付量(kg/m)	塗回数	塗装間隔(20℃)	塗装方法
素地調整	劣化塗膜は工具等で除去する。さびはパワーツールやサンドペーパーを用いて除去し、清掃する。素地調整後の露出部は事前に弊社「ネオゴーセーマイルド下塗」で補修塗りを行う。					
下塗	SPワイドポリリン(塗料用シンナー)	5~10	0.12~0.13	1	4時間~7日	はけ ローラー
上塗	SPワイドポリリン(塗料用シンナー)	5~10	0.12~0.13	1	—	はけ ローラー



防食性

▶防食性(塩水噴霧試験300時間)



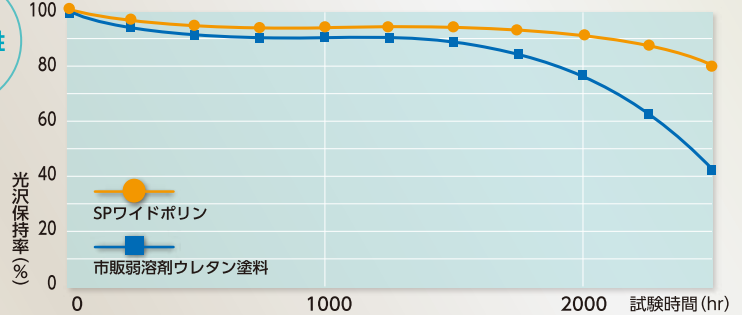
■従来仕様(3回塗り)と防食性能は変わらずに、2回塗りに短縮可能です。

乾燥性

		SPワイドボリン	2液弱溶剤ウレタン上塗
乾燥時間(20℃)	指触	40分	1時間
	半硬化	3時間	8時間
	硬化	16時間	24時間
乾燥時間(10℃)	指触	1時間	1時間
	半硬化	8時間	16時間
	硬化	24時間	40時間
塗り重ね時間	10℃	最短	8時間
		最長	10日
	20℃	最短	4時間
		最長	7日

促進耐候性

▶促進耐候性試験(JISキセノンランプ法)



施工上の注意事項

■塗料の混合について

1. 2液混合形塗料(基剤/硬化剤)ですので、所定の硬化剤を使用し、混合比(基剤/硬化剤=9/1【重量比】)を守って混合の上、塗装してください。

■素地調整について

1. 塗装前にはサンドペーパー等で入念に目粗しを行った後、ケレンかすをウェス拭きなどで十分除去し、ラッカーシンナー等で脱脂を行ってください。
2. 亜鉛めっき面に塗装の際は適切な素地調整および下塗り塗装を行ってください。
3. 焼付け塗装面に塗装の際は十分な目粗しを行い、下塗りとして「ネオゴーセーマイルド下塗」を塗装してください。

■施工上の注意点

1. 希釈には弊社「塗料用シンナー」をご使用ください。他のシンナーをご使用になりますとチヂミ等の不具合が発生することがあります。また、ラッカー系旧塗膜の塗り替え時にはチヂミ等の不具合が発生することがありますので、事前にご確認ください。
2. 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーをご使用ください。
3. 基剤/硬化剤の混合後、5時間以内(20℃)に使用してください。混合後、長時間経過した塗料を使用すると塗膜外觀異状の恐れがあります。
4. 開缶後、直ちに密栓する様にしてください。湿気等の影響で不具合が発生することがあります。
5. 乾燥過程において降雨等により白化することがあります。その場合、白化部分を軽く研磨する等の処置を行ってください。
6. 上塗りに強溶剤形塗料を使用しないでください。
7. 使用量は素材状況や被塗物の形状等により変わる場合があります。
8. 有機系のさえた色相で仕上げる場合、隠ぺい性確保のため中途りは共色で塗装することを推奨します。
9. 下塗/上塗で異なった色相を塗装する場合は、塗り重ねインターバルを1日以上空けてください。
10. エマルジョンパテの使用は避けてください。不具合発生の原因となります。
11. ゴムパッキンやシーリング材などの上に塗り重ねることは不具合発生の元ですので避けてください。やむを得ずシーリング材上に塗り重ねる場合は「アンチブリーダーS」をシーリング材上に塗装した上で塗り重ねてください。
12. 低温時(10℃以下)や高湿度下、また十分な換気ができない場合、乾燥性が低下することがあります。その場合は塗装間隔を1日以上確保してください。

使用上の注意事項

■硬化剤について

1. 硬化剤は湿気の影響を受けやすいため、保管時の水分等の混入には十分注意するとともに開缶後は全量使い切るようにしてください。
2. 硬化剤の混合割合(重量比)は正確に行ってください。

■粘度調整について

1. 弊社塗料用シンナーで塗装粘度まで希釈してください。
2. 希釈割合は、塗装方法、施工条件によって異なります。事前のためし塗りをして、塗装条件を確認してください。

■塗装について

1. 降雨、除雪時または直後などの高湿時、気温の変化による結露発生が予想される場合は施工を避けてください。
2. 温度5℃以下、湿度85%以上は施工を避けてください。
3. 被塗面温度が50℃以上の場合は塗装を避けてください。

■安全衛生

1. 有機溶剤中毒予防規則では、基剤/硬化剤とも第3種有機溶剤等に属します。換気と火気には、十分注意してください。
2. 作業者は保護具を着用し、塗料が直接皮膚に触れない様注意してください。



さわやかな環境の提案

神東塗料

本社 ☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)  
東京事業所 ☎(03)3522-2111(代) FAX(03)3522-2150(代)

工場 尼崎・千葉

《製品に関するお問い合わせ》

本社 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268  
東京事業所 ☎(03)3522-1674 FAX(03)3522-1678  
名古屋事業所 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318  
北海道営業所 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199  
東北営業所 ☎(022)285-7915 FAX(022)285-7813

静岡営業所 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091  
北陸営業所 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315  
中国営業所 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821  
四国営業所 ☎(087)841-1251 FAX(087)843-3108  
九州営業所 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777

<http://www.shintopaint.co.jp/>

